

平成25年度 第3回 医療福祉機器研究交流会 【アンケート集約結果】

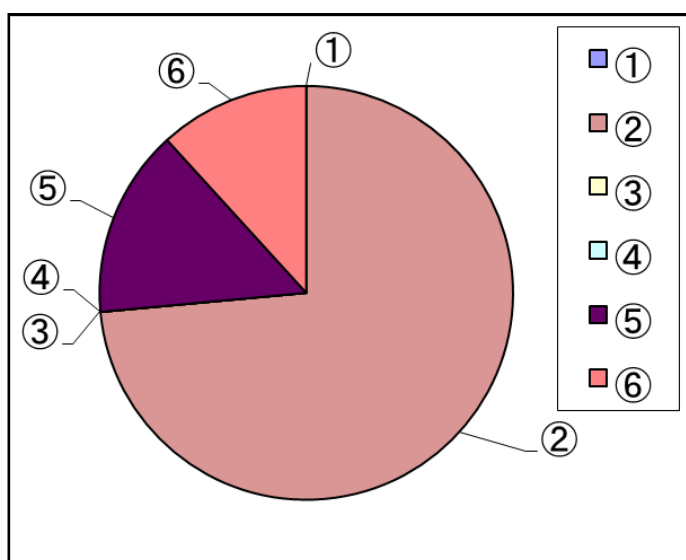
- 日時 平成26年2月20日(木) 13:30~17:10
- 会場 ホテルセンチュリー21広島 3階 「プラド」の間
- 主催 総務省中国総合通信局 中国情報通信懇談会 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター
- 参加者数/アンケート回収数 73名/33名 (回収率 45.2%)

1 開催を何でお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。(複数回答可))

どこから

- ①中国情報通信懇談会
- ② 公益財団法人 ちゅうごく産業創造センター
- ③中国総合通信局
- ④新聞等
- ⑤上司・同僚・知人等
- ⑥その他 ()

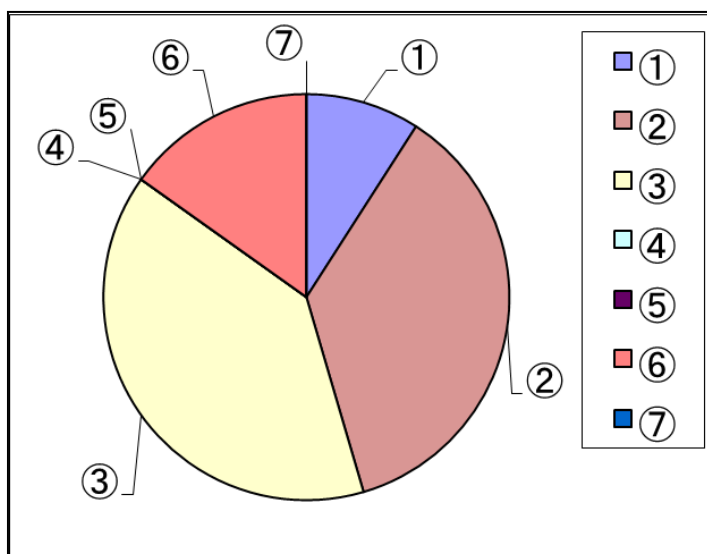
番号	回答数
①	0
②	25
③	0
④	0
⑤	5
⑥	4
計	34



どのような方法で (該当するものを○で囲んでください。(複数回答可))

- ①HP
- ②メールマガジン
- ③メール
- ④記事等
- ⑤FAX
- ⑥直接聞いて
- ⑦その他 ()

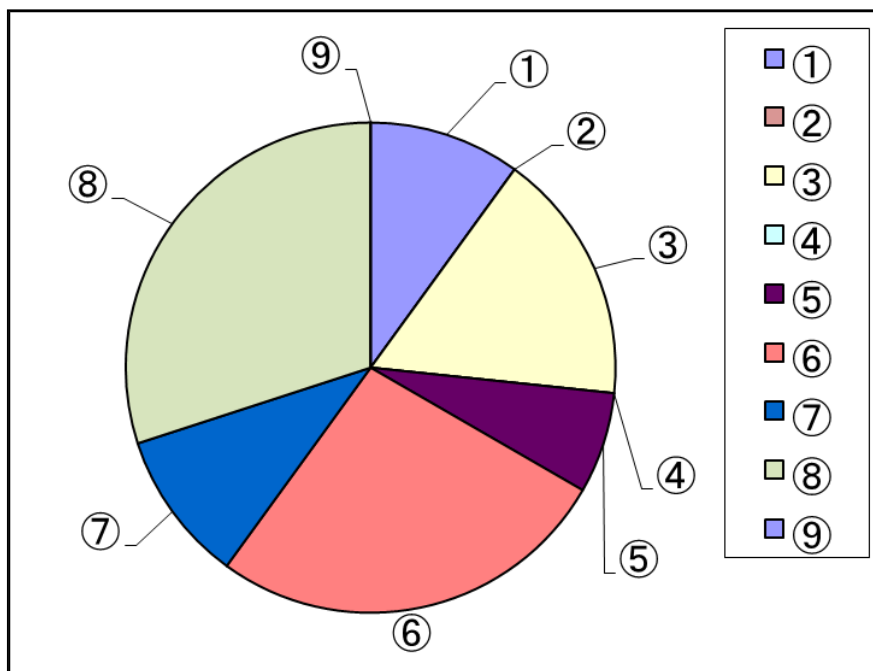
番号	回答数
①	3
②	12
③	13
④	0
⑤	0
⑥	5
⑦	0
計	33



2 貴方が所属する企業・団体等の主な分類を一つだけ○で囲んでください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送
 ⑤サービス ⑥公務 ⑦医療 ⑧その他の事業
 ⑨個人

番号	回答数
①	3
②	0
③	5
④	0
⑤	2
⑥	8
⑦	3
⑧	9
⑨	0
計	30



3 本研究交流会の各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

基調講演1 「加速する高齢化の中で 「治し、支える医療」とは
 ~『Aging in Place』 を目指した20年後の未来予想図~」
 ■講師 東京大学高齢社会総合研究機構 准教授 飯島 勝矢 氏

大変参考になった	13	興味がわく話だった	17
参考になった	16	興味がわかない話だった	3
あまり参考にならなかった	4	おもしろかった	4
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

- 1 まだ、高齢化について事業的にピンときていない。
- 2 地域包括ケアシステムの中、まち(地域)全体で生から死まで支えていく。大学→都市に出、就職する、永住している現状では、どんどん無理が出て来ると思います。生活、働く場、等の・・・
- 3 今後の医療のあり方、社会のあり方をわかりやすく、ご説明いただけたとします。柏スタディーの水平展開がとても楽しみです。柏スタディーの問題点やその解決方法などもうかがえたらよかったですと思います。
- 4 介護に関する仕事を行っていることから、大変参考になりました。

基調講演2 「高齢社会で在宅医療・介護を支える多職種連携情報共有システム」

■東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員

国立がん研究センター 外来研究員

株式会社カナミックネットワーク 専務取締役 山本 拓真 氏

大変参考になった	11	興味がわく話だった	17
参考になった	22	興味がわかない話だった	1
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	2
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

- 1 電子カルテの共有化、患者情報の共有化には、以前から興味があった。既に試験的に各地で進められていると聞いていたが、ここまでとは思わなかった。不勉強だった。
- 2 どこの地域(行政)のケアが、このシステムを導入しているかとか、わかれば安心。
- 3 年金事業、全保険と連携が出来れば100年安心の社会になるのではないのでしょうか。
- 4 ICTシステムについて実例を交え、よく理解できました。ガイドラインが策定されるのとこと、今後も情報収集させて頂ければと思います。
- 5 実績のあるシステムの話であり、事例も参考になった。

基調講演3 「岡山大学における高齢社会医療・介護機器研究推進に向けた取り組み」

■岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

高齢社会医療・介護機器研究推進講座、心臓血管外科 准教授 笠原 真悟 氏

大変参考になった	11	興味がわく話だった	23
参考になった	18	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	2
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

- 1 岡山の事業者等は、以前から話を聞いていたので、今後も話を聞いていきたい。
- 2 排泄に関しては、時間、Vital、便の状態からの健康状態の共有を研究・開発されている所があります。旧ニッサンの子会社→商品名：ダイアレット。カナダ、アルバート大学の共同研究もされたと聞いています。
- 3 遠隔医療で救われる患者さんがいて、その適応範囲の広がりを感じました。介護事業への関わり方も具体例で示していただき、参考になりました。
- 4 こういった機器は、やはりセンサーが問題になっていると考えます。
- 5 企業、自治体との連携が参考になりました。

研究シーズ紹介1 「口腔内カラスキャナーシステム」

■広島大学医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 教授 天野 秀昭 氏

大変参考になった	5	興味がわく話だった	16
参考になった	18	興味がわかない話だった	2
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	7
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

- 1 この方法は、2年前に姑がお世話になったことがあり、適確にいればとか出来るのに・・・と思いました。そのときは、30分でバタバタと診察され、結局、口にあった入歯が出来ず、大変な思いをしたと思います。
- 2 システム的には、考えられている内容は可能だと思います。
- 3 費用面、ビジネス面での検討が必要です。
- 4 在宅の場面で歯科の連携も重要であり、簡単な機器で簡単な操作で簡単な診断できるような装置があれば、歯科医でなくてもできそう。
- 5 情報共有システムに歯科の情報(画像+診断レポートのようなもの)をエントリーできそう。
- 6 ニーズ発着時、市場規模等が述べられれば、ビジネス判断します。
- 7 口腔内圧測定について、他の測定器との違いを調査してみたいです。
- 8 ソフトウェアの部分で協力させていただければと思います。

研究シーズ紹介2 「ニューラルネットワークによる肺X線画像診断支援」

■鳥取大学工学研究科 情報エレクトロニクス専攻 助教 吉村 宏紀 氏

大変参考になった	2	興味がわく話だった	10
参考になった	17	興味がわかない話だった	3
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	4
全く参考にならなかった	1	つまらなかった	2

- 1 先日、DICOM関係の案件があり、また最近、広大医学部の画像処理の講義を受けた。なので、大変興味深い話でした。TPUnitNNについては時間をかけて、しっかり理解してみたい。
- 2 話の内容が難しかった。
- 3 今後ソフトウェア自体が医療機器と同じように扱われていく中で、どのように信頼できるデータを返すか、また、それをどのように担保していくか、とても興味をもちました。
- 4 解析が複雑になり、時間がかかるのではないかと疑問をもちました。
- 5 イメージはわかりませんが、理論的には理解できなかった。
- 6 医療の領域だけでなく、他にも応用できそう。例えば、製造ライン(ローマスト)、画像検索。
- 7 よくわからなかったです。すみません。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

- 1 遠隔の基本として、電波利用は今後ますます注目されると思います。
- 2 大幅なコストダウン。

5 今後、取り上げてほしいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

- 1 今回のような実際のニーズのコーナーがあると興味を持てます。
- 2 医療分野における食事栄養士等の講演、メンタル分野に対する講演。
- 3 最先端(東大)とかの研究の紹介。